

議会改革のための意見

令和5年度の二本松市議会議員研修会は、議員の資質向上及び議会のより一層の活性化を図ることを目的とし、青森大学社会学部教授・早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員 佐藤淳氏を講師に招き、「「議会基本条例」の原点に立ち戻ろう」を演題に開催しました。

この研修を政治家として議員活動をより活性化させていく良い機会と捉えました。

そして各常任委員会でのテーマを決めて活動計画立案から二本松市へ政策提言を行っていく必要性を強く実感しました。

また、今まで行ってきた議会報告会の開催方法を検討し、市民の皆様の意見を広く聞き取れるようにすることから始めてみたいと思いました。

そして、議会報告会の効果検証を行い、次年度以降へよりよく改善していくためのPDCAサイクルを回していくことが大切だと思います。

武藤 清志

基本条例の検証・見直し・改正
市政チェック機能の強化

坂本 和広

委員会として活動計画を立てて、そのテーマに対して各自学び、各議員とディスカッションし、専門家の意見を多く伺った上で、よりよい提言をまとめていきたい。上記の中で、

1. 市民の意見の吸い上げを行う。
2. 市民からの解決策を取り上げる。
3. 市民からの反対の意見に耳を傾ける。

斎藤 徹

現況に合わせた議会基本条例に見直しをする。

佐久間 好夫

委員会の充実
提案された事件の審査のみでなく、検証まで考える。
2年に1度程度で議会基本条例の検証と見直し。

佐藤 運喜

政策立案・提言、条例の検証見直し
会派活動の活発化、意識統一
委員会活動の活発化



講演：「議会基本条例」の原点に立ち戻ろう

安齋 政保

議会基本条例についてもっと深く読み込み、理解することから始めてみるのが大切である。

三木 剛

条例の目的が達成されたかを検証し見直しを次年度に生かす。
そのために第21条の「必要に応じて」を「定期的・〇月に」見直しを実施すると書き直す。
それにより、市民の声を、市民の意見、社会情勢の変化等を取り入れた政策・立案・提言を議員全員で行う。

高宮 正彦

委員会として市民の皆さん（関係団体等）から話を聞いていく。
議員としてもっと勉強していく。



5月12日に行われた市議会議員研修会では、議会基本条例の意義と、議会改革の必要性を理解することを目的とし、各議員が議会改革として挑戦したいことを話し合いました。

各議員が掲げた「挑戦したいこと」を掲載します。

菅野 明

私は、

1. 市民から出された当たり前の請願が通る議会にしたい。
2. 世の前半分は女性、もっと女性議員が多くなる議会にしたい。

鈴木 一弘

委員会の活動を活性化させる
委員会政策立案等ができるように進める
委員会の議論を活発にしていけることで、しっかりと二元代表制の一元として活動できるようにする

小林 均

市民との意見交換の場をこれから年に2回くらい実施し、多様な市民の意見を踏まえた上で、それを議会での政策立案・政策提言へつなげていく。
委員会の中での議員間の議論を活発化させ、委員会・議会としての政策立案・政策提言を行っていく。

加藤 建也

議員の意識改革。

本多 俊昭

議員としての意識改革！

平 敏子

議員として学習に力を入れ専門性を高めること。
市民に対して向き合い、活動を進めていきたい。

熊田 義春

議会、委員会での政策提言・立案が当たり前に行える議員。
伸び代のある議会を目指す。

斎藤 広二

政策立案・提言をする議会としたい。
社会情勢等を勘案しての事業の見直し
市民との意見交換

小野 利美

1. 社会情勢等を検証して議会、委員会での政策立案・提言。
2. 市民との意見交換会の中身（やり方）を見直し、実現。

佐藤 源市

政策立案・提言
各委員会における閉会中の所管事務調査への取組
各委員会における市民との意見交換会の開催

堀籠 新一

1. 議会基本条例を見直すこと。
2. 議会報告会、市民との意見交換会の充実（若者、女性）
3. 委員会での討議を重ねて政策立案・提言を行う。

本多 勝実

議員定数削減
委員会活動の見直し
議員、議会の役割の再認識（資質の向上）

佐藤 有

当局職員はもちろん、議員共々一丸となって市民福祉の向上に努めなければならない。
多様な情報を正確に市民に伝えたい。